

看護の日の イベントを開催

看護師長 鳥本里菜・古谷玲奈



5月12日は、近代看護教育の母フローレンス・ナイチンゲールの誕生日であり、「看護の日」に制定され、5月12日から1週間は「看護週間」とされています。当院では、5月16日(木)に『看護の心をみんなの心に』をテーマにイベントを開催しました。

1階エントランスホールに血圧測定コーナーを設置し、健康相談を行いました。認定看護師による相談窓口を設け、緩和ケア認定看護師、救急看護認定看護師、クリティカルケア認定看護師が対応しました。

ホール内に各部署と認定看護師の紹介ポスター、職員の子供達を書いたお父さんお母さんの絵を展示しました。入院患者さんや、相談窓口・ポスター展示に足を止めてくださる方との交流を通し、看護の日を知っていただくことができました。

また、入院患者さんには看護の日の特別メニューが提供されました。患者さんからは、食事を見て「可愛いですね。今日は何の日ですか?」という声が聞かれました。日頃病棟内で患者さんの対応をしている看護師

が、外来患者さん・地域の方々と直接話をするよい機会となり、当院の看護師としての役割を改めて感じることができました。

当院は、これからも皆様が地域で元気に暮らしていけるよう今後もイベントや入院・外来での関わりを通して支援していきたいと考えています。



看護の日の特別メニュー

